



神奈川県
かながわ男女共同参画センター

KANAGAWA

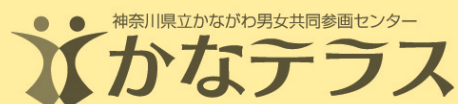


私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

ヨーロッパ諸国における
女性の就業継続とキャリアアップの取組に関する調査研究
—スウェーデン、フランス、ドイツ、オランダの取組—

2022（令和4）年3月



はじめに

我が国における女性の就業者数は2019年まで年々増加し、2020年のいわゆる共働き世帯数は1,240万世帯と、専業主婦世帯の2倍を超えるに至っています。

女性の年齢階級別労働力率が子育て期を中心に落ち込むいわゆるM字カーブについても、M字の底が上昇してきており、女性の年齢階級別労働力率のグラフは台形に近づきつつあります。

しかしながら、世界経済フォーラムが2021年に公表した「Global Gender Gap Report 2021」によると、男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数は、日本は156か国中120位です。経済分野の順位は117位で、政治分野（147位）に次いで低く、管理職の女性の割合が低いこと、パートタイムの職に就いている女性の割合は男性のほぼ2倍であり、女性の平均所得は男性の平均所得より低いことが指摘されています。

また、最近では、我が国の女性の年齢階級別正規雇用比率が20代後半でピークを迎えた後、低下を続けるL字カーブという新たな課題も提起されているところです。

特に神奈川県においては、全国で最も通勤時間が長いこともあり、いわゆるM字カーブの底の値、深さも全国最下位となっており、また、企業等に雇用されている女性の過半数が非正規雇用で、年齢階級別正規雇用比率はL字カーブを描いています。管理職の状況はといえば、神奈川県男女共同参画推進条例に基づく届出結果では、民間の事業所における管理職に占める女性の割合は徐々に増加しつつあるものの、1割に満たない状況が続いています。

このような状況の背景には、無意識な思い込みも含めた固定的な性別役割分担意識や、それにも起因する家事・育児等の負担の女性への偏りなどがあり、女性の働き方を制約する要因となっていると考えられます。

国においては、2015年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」を制定し、企業等における女性活躍の推進を図ってきており、神奈川県においても「男女共同参画推進プラン（第4次）」に基づき、「あらゆる分野における男女共同参画」などを重点目標とし、様々な施策を展開してきましたが、女性が自らが望む形で就業を継続し、キャリアアップをすることができる社会を実現するためには、男女の意識改革や男性の家事・育児への参画促進を含め、性別にかかわらず、誰もが働きやすい環境整備に向けた一層の取組が必要です。

このような状況を踏まえ、当センターでは、令和2年度から令和3年度にかけ、女性の年齢階級別労働力率が台形に近く、ライフコースを通じた就業継続を実現しているヨーロッパ4か国（スウェーデン、フランス、ドイツ、オランダ）について、女性が結婚、出産といったライフイベントを迎えてもキャリアを中断することなく、キャリアアップするための国や自治体、企業の制度や取組について調査を行いました。

本調査が、女性のみならず、一人ひとりが自らに合った働き方を選択し、生涯にわたって個性と能力を十分に発揮できる社会の実現への一助になれば幸いです。

最後になりましたが、お忙しい中、本報告書の作成に多大なる御協力をいただきました有識者の皆様に、厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

神奈川県立かながわ男女共同参画センター
所長 椎野 こずえ

ヨーロッパ諸国における女性の就業継続とキャリアアップの取組に関する調査研究 —スウェーデン、フランス、ドイツ、オランダの取組— 目次

| | |
|---|----|
| 調査概要 | 1 |
| 1 本調査の目的..... | 1 |
| 2 本調査の手法等..... | 3 |
| 3 調査項目..... | 3 |
| 4 調査期間..... | 4 |
| 5 調査結果のポイント（日本との比較の視点から）..... | 4 |
| 第1章 日本および神奈川県における女性活躍推進の現状と課題 | 9 |
| 特別寄稿 横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 教授 二神 枝保 氏 | |
| 第2章 各国の事例 | 33 |
| 第1節 スウェーデン王国 (Kingdom of Sweden) | 33 |
| 基礎データ..... | 33 |
| はじめに..... | 33 |
| 節の構成..... | 34 |
| スウェーデンの女性—日本との比較の視点から..... | 35 |
| 1 国や自治体の諸制度..... | 42 |
| (1) キャリアを中断せず働き続けるための取組 | |
| ア 男女共同参画社会に向けた取組の歴史的変遷 | |
| イ ジェンダー平等施策 | |
| ウ 現行育児休業制度 | |
| エ 両立・子育て支援関連施策 | |
| オ 介護者支援 | |
| カ 再就職支援 | |
| (2) キャリアアップするための取組 | |
| ア スウェーデンにおけるキャリア形成 | |
| イ リカレント教育 | |
| ウ 職業教育訓練 | |
| エ 女性管理職・女性役員の割合 | |
| 2 企業等の取組..... | 57 |
| (1) A B Bの事例 | |
| (2) S C Aの事例 | |
| (3) I K E Aの事例 | |
| 文献..... | 60 |
| 第2節 フランス共和国 (French Republic) | 67 |
| 基礎データ..... | 67 |
| はじめに..... | 67 |
| 節の構成..... | 68 |

| | |
|-------------------------|----|
| フランスの女性—日本との比較の視点から | 69 |
| 1 国や自治体の諸制度 | 74 |
| (1) キャリアを中断せず働き続けるための取組 | |
| ア 男女共同参画社会に向けた取組の歴史的変遷 | |
| イ 現行育児休業制度概要 | |
| ウ 両立・子育て支援関連施策 | |
| エ 不妊治療への支援 | |
| オ 週35時間労働制 | |
| カ 職場における男女平等に関する制度 | |
| (2) キャリアアップするための取組 | |
| ア フランスにおけるキャリア形成 | |
| イ 職業教育訓練 | |
| ウ 女性管理職・女性役員の割合 | |
| 2 企業等の取組 | 93 |
| (1) ロレアル (L'ORÉAL) の事例 | |
| (2) オランジュ (Orange) の事例 | |
| (3) S N C F の事例 | |
| 文献 | 96 |

第3節 ドイツ連邦共和国 (Federal Republic of Germany) 103

| | |
|--------------------------------|-----|
| 基礎データ | 103 |
| はじめに | 103 |
| 節の構成 | 104 |
| ドイツの女性—日本との比較の視点から | 105 |
| 1 国や自治体の諸制度 | 112 |
| (1) キャリアを中断せず働き続けるための取組 | |
| ア 男女共同参画社会に向けた取組の歴史的変遷 | |
| イ 現行育児休業制度概要 | |
| ウ 両立・子育て支援関連施策 | |
| エ 介護保険制度 | |
| オ 再就職支援 | |
| (2) キャリアアップするための取組 | |
| ア ドイツにおけるキャリア形成 | |
| イ ジョブに合わせた職業教育訓練 | |
| ウ 女性管理職・女性役員の割合 | |
| 2 企業等の取組 | 128 |
| (1) ドイツ企業における柔軟な働き方とキャリア形成の特徴 | |
| (2) 具体的な企業の事例 | |
| ア ボッシュ (Robert Bosch GmbH) の事例 | |
| イ アリアンツ (Allianz SE) の事例 | |
| ウ フォルクスワーゲン・グループ (VW) の事例 | |
| 文献 | 134 |

| | |
|--|-----|
| 第4節 オランダ王国 (Kingdom of the Netherlands) | 141 |
| 基礎データ | 141 |
| はじめに | 141 |
| 節の構成 | 142 |
| オランダの女性—日本との比較の視点から | 143 |
| 1 国や自治体の諸制度 | 150 |
| (1) キャリアを中断せず働き続けるための取組 | |
| ア 男女共同参画社会に向けた取組の歴史の変遷 | |
| イ 多様で柔軟な働き方を可能とする制度 | |
| ウ 現行育児休業制度概要 | |
| エ 両立・子育て支援関連施策 | |
| オ 介護者支援 | |
| カ 再就職支援 | |
| (2) キャリアアップするための取組 | |
| ア オランダにおけるキャリア形成 | |
| イ 職業教育訓練 | |
| ウ 女性管理職・女性役員の割合 | |
| 2 企業等の取組 | 166 |
| (1) 柔軟な働き方を支える従業員と企業の「信頼関係」 | |
| (2) 具体的な企業の事例 | |
| ア R a n d s t a d の事例 | |
| イ I N G バンク (I N G グループ) の事例 | |
| ウ P h i l i p s の事例 | |
| 文献 | 170 |
| | |
| 第3章 調査を終えて | 177 |
| | |
| 資料 各国の男女共同参画に向けたあゆみ | 190 |

